

平成28年3月期 第2四半期決算説明会 データブック

平成27年11月18日
シダックス株式会社
(JASDAQ スタンドアード : 4837)

平成28年3月期 第2四半期決算トピックス

I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

わが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和政策を背景に、景気は緩やかな回復基調にあるものの、円安に伴う原材料価格の上昇や海外景気の下振れ懸念など、景気の先行きは不透明な状況にあり、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループは、“フードサービスから公共サービスまで提供可能な水平垂直統合型の企業構造”で他社との差別化を図り、プレミアムブランド戦略による高品質・高付加価値のサービスを提供するとともに、より一層の「安心・安全」な管理体制の強化、グループ総合力を活かしたトータルアウトソーシングによる営業拡大に努めてまいりました。

■ 平成28年3月期 第2四半期連結決算ハイライト

(単位:百万円)

	平成27年3月期				平成28年3月期				平成28年3月期	
	第2四半期累計(実績)		通 期(実績)		第2四半期累計(実績)		PL前年同期比/BS前期末比		第2四半期累計(予想)	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	期初予想	差額
売上高	91,419	100.0%	174,461	100.0%	80,234	100.0%	△ 11,184	△12.2%	82,500	△ 2,265
売上原価	81,120	88.7%	153,330	87.9%	72,237	90.0%	△ 8,883	△11.0%	—	—
売上総利益	10,299	11.3%	21,131	12.1%	7,997	10.0%	△ 2,301	△22.4%	—	—
販売費及び一般管理費	10,240	11.2%	20,483	11.7%	8,998	11.2%	△ 1,241	△12.1%	—	—
営業利益	58	0.1%	647	0.4%	△ 1,001	△1.2%	△ 1,060	△1801.5%	700	△ 1,701
営業外収益	316	0.3%	641	0.4%	498	0.6%	182	57.6%	—	—
営業外費用	573	0.6%	1,086	0.6%	714	0.9%	141	24.7%	—	—
経常利益	△ 197	△0.2%	202	0.1%	△ 1,217	△1.5%	△ 1,019	515.6%	310	△ 1,527
特別利益	5,618	6.1%	5,870	3.4%	136	0.2%	△ 5,481	△97.6%	—	—
特別損失	58	0.1%	1,669	1.0%	281	0.4%	223	382.5%	—	—
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	3,733	4.1%	255	0.1%	△ 1,402	△1.7%	△ 5,135	△137.6%	100	△ 1,502
総資産	97,848	—	92,338	—	85,774	—	△ 6,563	△7.1%		
純資産	27,933	—	26,133	—	17,722	—	△ 8,410	△32.2%		
自己資本	27,933	—	26,133	—	17,722	—	△ 8,410	△32.2%		
自己資本比率	28.5%	—	28.3%	—	20.7%	—	△7.6%	—		
ROE(自己資本当期利益率)	14.1%	—	1.0%	—	△6.4%	—	△7.4%	—		
ROA(総資産経常利益率)	△0.2%	—	0.2%	—	△1.4%	—	△1.6%	—		

(注)【ROE】=親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

【売上高】802.3億円(期初予想対比△2.7%)

□ レストランカラオケ事業・・・様々なキャンペーン・イベント企画等の実施による売上計画達成に向けた取り組みを行ってまいりましたが、個人消費が本格回復に至らない中、競合他社との低価格競争及び他業種との顧客獲得競争の激化等の影響により、当初計画を下回る。

【営業利益】△10億円(期初予想7億円)

【経常利益】△12.1億円(期初予想3.1億円)

【純利益】△14億円(期初予想1億円)

□ 原材料高騰の抑制に努めるとともに、労務費の原価管理の徹底、店舗運営経費の見直し並びに間接部門を中心とした販管費の適正化に努めてまいりましたが、主にレストランカラオケ事業の売上高減少を補うまでには至らず、当初計画を下回る。

II. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び12～14ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

売上高	26年9月期	27年9月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	21,009	20,752	△ 256	△1.2%
コントラクトフード事業	16,056	15,579	△ 476	△3.0%
メディカルフード事業	17,930	17,353	△ 577	△3.2%
レストランカラオケ事業	18,397	15,285	△ 3,112	△16.9%
コンビニエンス中食事業	7,438	7,379	△ 58	△0.8%
トータルアウトソーシング事業	19,600	20,379	778	4.0%
その他	12,977	5,100	△ 7,876	△60.7%
消去及び全社	△ 21,992	△ 21,596	395	1.8%
売上高 計	91,419	80,234	△ 11,184	△12.2%

(単位:百万円)

セグメント利益	26年9月期	利益率	27年9月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	1,470	7.0%	1,439	6.9%	△ 31	△2.1%
コントラクトフード事業	804	5.0%	841	5.4%	36	4.5%
メディカルフード事業	480	2.7%	462	2.7%	△ 18	△3.8%
レストランカラオケ事業	262	1.4%	△ 1,572	△10.3%	△ 1,834	△698.5%
コンビニエンス中食事業	162	2.2%	133	1.8%	△ 29	△17.8%
トータルアウトソーシング事業	810	4.1%	1,359	6.7%	549	67.8%
その他	△ 641	△4.9%	△ 552	△10.8%	89	13.9%
消去及び全社≒HQコスト	△ 3,291	—	△ 3,113	—	178	5.4%
営業利益	58	0.1%	△ 1,001	△1.2%	△ 1,060	△1801.5%

□ エスロジックス事業は、主にグループ内への食材等の販売が減少したことにより売上高は207.5億円(前年同期比1.2%減)となりました。また、売上高の減少及び仕入価格の高騰などにより、セグメント利益は14.3億円(前年同期比2.1%減)となりました。

□ コントラクトフードサービス事業は、不採算店舗の撤退等により売上高は155.7億円(前年同期比3.0%減)となりましたが、労務管理の徹底、赤字店舗の運営改善強化などによりセグメント利益は8.4億円(前年同期比4.5%増)となりました。

□ メディカルフードサービス事業は、不採算店舗の撤退等の影響により売上高の減少はあったものの、徹底した原価管理に努めた結果、売上高は173.5億円(前年同期比3.2%減)、セグメント利益は4.6億円(前年同期比3.8%減)となりました。

□ レストランカラオケ事業は、各種キャンペーン企画等の実施による売上計画達成に向けた取り組みを行いつつ、労務費の原価管理の徹底、店舗運営経費の見直し並びに販管費の適正化に努めてまいりましたが、個人消費が本格回復に至らない中、競合他社との低価格競争及び他業種との顧客獲得競争の激化等の影響により、売上高は152.8億円(前年同期比16.9%減)、セグメント損失は15.7億円(前年同四半期2.6億円のセグメント利益)となりました。

□ コンビニエンス中食事業は、大手コンビニエンスストアや多業態からの攻勢などにより厳しい経営環境の中で、品揃えの強化、キャンペーン企画を実施してまいりましたが、来店客数の減少の影響が大きく売上高は73.7億円(前年同期比0.8%減)、セグメント利益は1.3億円(前年同期比17.8%減)となりました。

□ トータルアウトソーシング事業は、社会サービス事業において地方自治体における財政再建と地域活性化へのニーズの高まりから、引き続き民間委託が進んでおり、地方公共団体から学校給食業務、施設管理業務を新規に受託した結果、売上高は203.7億円(前年同期比4.0%増)、セグメント利益は13.5億円(前年同期比67.8%増)となりました。

□ スペシャルティールレストラン事業は、当期より、「その他」のセグメントに含めることといたしました。上記のセグメント別の業績は、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

Ⅲ. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】4ページ及び6～7ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	27年3月期	27年9月期	増減額
現金及び預金	11,146	15,688	4,541
売上債権	12,856	12,806	△ 49
その他流動資産	7,289	6,577	△ 712
有形固定資産	29,840	27,567	△ 2,272
のれん	7,861	1,430	△ 6,431
敷金及び保証金	8,120	7,898	△ 221
その他固定資産・投資等	15,224	13,805	△ 1,418
資産計	92,338	85,774	△ 6,563

(単位:百万円)

	27年3月期	27年9月期	増減額
仕入債務	7,718	7,708	△ 10
借入金・社債(短期・長期)	32,136	37,742	5,605
リース債務(短期・長期)	4,655	3,303	△ 1,351
資産除去債務	3,005	3,015	9
その他負債	18,690	16,283	△ 2,407
負債計	66,205	68,052	1,846
純資産	26,133	17,722	△ 8,410
自己資本比率	28.3%	20.7%	△7.6%

□ 総資産は、前期末に比べ65.6億円減少し857.7億円(前期末比7.1%減)となりました。

主に、現金及び預金が45.4億円増加した一方で、減価償却等により有形固定資産が2.7億円及び「企業結合に関する会計基準」等を適用したこと等によりのれんが64.3億円減少したことによります。

□ 負債は、前期末に比べ18.4億円増加し680.5億円(前期末比2.8%増)となりました。

主に、返済等によりリース債務が13.5億円及びその他負債が24.0億円減少した一方で、借入金・社債が56.0億円増加したことによります。

□ 純資産は、前期末に比べ84.1億円減少し177.2億円(前期末比32.2%減)となりました。

主に、「企業結合に関する会計基準」等を適用したこと等により資本剰余金が41.2億円、利益剰余金が22.7億円減少したほか、親会社株主に帰属する四半期純損失14.0億円の計上と剰余金の配当5.8億円により利益剰余金が19.8億円減少したことによります。

以上の結果、当第2四半期末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ7.6ポイント低下し20.7%となりました。

IV. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減及び財政状態の説明

[短信【添付資料】4ページ及び10～11ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	26年9月期	27年9月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	2,367	223	△ 2,144
投資活動キャッシュ・フロー	456	808	351
財務活動キャッシュ・フロー	△ 443	3,478	3,922
換算差額	△ 49	14	63
現金及び現金同等物の増減額	2,331	4,524	2,193
現金及び現金同等物の期首残高	10,810	10,371	
現金及び現金同等物の期末残高	13,142	14,896	

□ 営業活動の結果得られた資金は2.2億円(前年同期は23.6億円の資金獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前純損失が13.6億円計上されたほか、未払消費税の減少額が19.3億円あった一方、減価償却費が26.8億円、減損損失が1.4億円、未収入金の減少額が5.3億円並びに預り金の増加額が2.0億円あったことによります。

□ 投資活動の結果得られた資金は8.0億円(前年同期は4.5億円の資金獲得)となりました。

これは主に、定期預金及び拘束性預金の預入による支出が2.5億円、有形固定資産の取得による支出が3.3億円並びに資産除去債務の履行による支出が1.6億円あった一方、定期預金及び拘束性預金の払戻による収入が1.8億円、有形固定資産の売却による収入が2.2億円、投資有価証券の売却による収入が2.0億円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が5.4億円並びに保険積立金の払戻による収入が4.1億円あったことによります。

□ 財務活動の結果獲得された資金は34.7億円(前年同期は4.4億円の資金使用)となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出が13.6億円、長期借入金の返済による支出が86.1億円、社債の償還による支出が3.8億円、配当金の支払額が5.8億円並びに割賦債務の返済による支出が1.7億円あった一方、長期借入れによる収入が146.0億円あったことによります。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	26年9月期	27年3月期	27年9月期
自己資本比率(%)	28.5	28.3	20.8
時価ベースの自己資本比率(%)	20.0	22.8	22.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	900.4	656.3	9,398.0
インフレ・カバレッジ・レシオ(倍)	5.0	6.3	0.5

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	26年9月期	27年3月期	27年9月期	増減額
借入金・社債	37,585	32,136	37,742	5,605
リース債務	3,758	4,655	3,303	△ 1,351
割賦未払金	1,296	1,106	916	△ 189
未経過リース料期末残高相当額(注)	680	552	536	△ 16
合計	43,321	38,450	42,498	4,048

(注)不動産リース取引は除く

V. 平成28年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】5ページ記載]

■ 平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において5月15日に発表しました業績予想を変更していません。

(単位:百万円)

	27年3月期 実績	28年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	174,461	167,000	△ 7,461	△4.3%
営業利益	647	2,500	1,852	285.8%
経常利益	202	1,780	1,577	777.9%
当期純利益	255	600	344	134.8%

VI. セグメント別店舗数推移表

26年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加	1	19	4	11	6	5	6	51	3	2	2	2	1	8	69
	減少		7		6	5	2	3	25	2	1	7	1	6	19	61
	残	1,327	1,339	1,337	1,343	1,347	1,350	1,353	1,353	1,354	1,355	1,350	1,351	1,346	1,335	1,335
メディカル	増加		34	4	4	6	2	3	53	5	1	14	1	2	3	79
	減少	1	5	4	4	2	5	2	22	3	2	2	0	5	28	62
	残	786	815	815	815	819	816	817	817	819	818	830	831	828	803	803
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	減少		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	4
	残	302	302	302	302	302	302	301	301	301	302	302	299	300	300	300
車両管理台数	増加		180	30	20	26	16	25	297	19	16	15	11	13	17	388
	減少		177	27	25	19	14	20	282	27	9	9	11	14	21	373
	残	3,596	3,599	3,602	3,597	3,604	3,606	3,611	3,611	3,603	3,610	3,616	3,616	3,615	3,611	3,611
社会管理人員	増加		1,111	37	37	52	166	98	1,501	8	6	35	47	34	45	1,676
	減少		981	145	22	48	41	55	1,192	31	15	15	65	2	8	1,328
	残	7,888	8,118	8,010	8,025	8,029	8,154	8,197	8,197	8,174	8,165	8,185	8,167	8,199	8,236	8,236
コンビニエンス中食	残	398			393			390			391				382	

27年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		24	6	5	2	3	5	45	8	2	1	2	2	2	62
	減少		9	5	4	3	3	4	28	4	6	7	2	6	37	90
	残	1,335	1,350	1,351	1,352	1,351	1,351	1,352	1,352	1,356	1,352	1,346	1,346	1,342	1,307	1,307
メディカル	増加		28	5	7	3	4	2	49	3	5	5			5	67
	減少		2	7	3	3	4	4	23	2	6	3	4		35	73
	残	803	829	827	831	831	831	829	829	830	829	831	827	827	797	797
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減少		0	1	1	15	0	1	18	0	2	0	1	0	0	21
	残	300	300	299	298	283	283	282	282	282	280	280	279	279	279	279
車両管理台数	増加		165	30	30	27	10	22	284	27	29	11	15	13	21	400
	減少		178	21	17	20	18	7	261	32	15	33	5	11	43	400
	残	3,611	3,598	3,607	3,620	3,627	3,619	3,634	3,634	3,629	3,643	3,621	3,631	3,633	3,611	3,611
社会管理人員	増加		1,046	30	27	13	99	130	1,345	51	70	6	22	20	60	1,574
	減少		472	85	37	195	117	57	963	15	16	13	47	19	57	1,130
	残	8,236	8,810	8,755	8,745	8,563	8,545	8,618	8,618	8,654	8,708	8,701	8,676	8,677	8,680	8,680
コンビニエンス中食	残	381			388			383			387				368	

28年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コントラクト	増加		8	7	2	3	1	3	24							
	減少		3	2	5	3	6	4	23							
	残	1,307	1,312	1,317	1,314	1,314	1,309	1,308	1,308							
メディカル	増加		31	2	2	5		2	42							
	減少		3	7	7	7	4	4	32							
	残	797	825	820	815	813	809	807	807							
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0							
	減少		3	0	0	0	1	1	5							
	残	279	276	276	276	276	275	274	274							
車両管理台数	増加		115	26	21	18	19	15	214							
	減少		183	27	33	18	14	20	295							
	残	3,611	3,543	3,542	3,530	3,530	3,535	3,530	3,530							
社会管理人員	増加		709	38	9	55	33	23	867							
	減少		572	67	69	31	26	61	826							
	残	8,680	8,817	8,788	8,728	8,752	8,759	8,721	8,721							
コンビニエンス中食	残	368			370			369								

VII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

26年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,327,982	3,443,424	3,325,607	3,245,695	4,133,066	3,172,854	20,648,627	2,850,786	3,089,328	5,245,137	3,901,592	2,547,623	3,571,110	41,854,204
客数(千人)		2,279	2,388	2,315	2,383	2,766	2,205	14,334	1,991	1,982	2,698	2,411	1,776	2,383	27,575

27年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		2,997,480	3,236,367	2,842,429	2,891,107	3,734,033	2,696,540	18,397,956	2,594,899	2,775,631	4,456,555	3,251,381	2,437,678	2,970,258	36,884,357
客数(千人)		2,045	2,198	2,040	2,128	2,570	1,967	12,946	1,798	1,845	2,315	2,039	1,712	2,050	24,706

28年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		2,476,582	2,707,692	2,320,513	2,507,077	2,985,628	2,288,421	15,285,914							
客数(千人)		1,702	1,733	1,542	1,668	1,833	1,529	10,007							